



● 平成25年 知事新春メッセージ 「兵庫から未来を拓く」(兵庫県知事 井戸敏三)
● 年頭挨拶「新春を迎えて」(一般社団法人兵庫県治山林道協会 会長 田路 勝)
● 平成24年度 林業賞受賞者(兵庫県農政環境部林務課)4
● 治山・林道コンクール受賞者の紹介
●「植えて育てて未来をつくる」地元小学生による台風被害跡地の森づくり
(加古川農林水産振興事務所林業課) 6・7
● 平成24年度 ロープネットロックボルト併用工法研究会講演会
「SAAMシステムを用いたグラウンドアンカー工の維持管理」(兵庫県農政環境部治山課) ························ 8・9
平成24年森林ツーリズムツアーの実施状況10~13
● 林業等先進地視察研修 高知県香美市·大豊町 ···································
●「林業専用道」調査・測量設計研修について(社団法人兵庫みどり公社 森林緑化部専門員 小西好仁)16
● 「ひょうご森のまつり2012」を開催(兵庫県農政環境部豊かな森づくり課)
● 第27回「ひょうご木材フェア」10月14日(日)開催(兵庫県木材利用推進協議会)
● 六甲山地区におけるナラ枯れ予防対策の徹底について(兵庫県農政環境部森林保全室)
協会だより20

兵庫から未来を拓く 平成55年 知事新春メッセージ

兵庫県知事・井戸紋と



初春のお喜びを申しあげます。

なくてはなりません。かしい社会システムへの転換に向けた歩みを進めわしい社会システムへの転換に向けた歩みを進めい国際秩序の構築が求められています。私たち日い国際秩序の構築が求められています。私たち日出界の主要国で次代のリーダーが決まり、新し

活かして豊かな地域社会をつくる好機とすべきでに対応しつつ、これまで築いてきた知恵や資源を人口減少や高齢化を悲観するのではなく、変化

って歩んでいこうではありませんか。そ持てる力を十分に発揮し、未来を拓く先頭に立材を輩出して日本をリードしてきた兵庫が、今こす。世界に開かれた歴史や文化を有し、多様な人

を確呆します。すとともに、医療、福祉など暮らしを支える基盤フ巨大地震や頻発する風水害への備えに万全を期一つには、安全安心の基盤をつくる。南海トラー

をめざします。 とのでします。 とのでします。 こつには、質の高い生活をつくる。次代を担う こつには、質の高い生活をつくる。次代を担う

る産業をつくります。のひょうごブランド戦略の推進など、世界と競えの科学技術基盤を活かした新産業創出、農水産物三つには、新時代の経済社会をつくる。最先端

実しつつ、地域再生大作戦やツーリズム振興な四つには、地域の元気をつくる。交通基盤を充

図ります。 ど、内外との交流の促進を通して地域の活性化を

行い兵庫の自立をめざします。推進するとともに、第二次行革プランの総点検をめ、地方分権改革を関西広域連合と一体となっての、地方分権改革を関西広域連合と一体となって

いきましょう。 集し「創造と共生の舞台・兵庫」をつくりあげて民みんなの知恵と力、ふるさと兵庫への思いを結民みんなの知恵と力、ふるさと兵庫への思いを結

新時代 拓く基は 県民の

知恵と資源を 生かす志

年 頭 挨 拶

新春を迎えて

一般社団法人兵庫県治山林道協会会長のは、

宍粟市長



新年明けまして おめでとうございます。

別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。 たこととお喜び申し上げます。 さて昨年は、兵庫県下では大きな災害に見舞われ 平素は、当協会の業務の推進につきまして、格 会員の皆様には、清々しく新しい年を迎えられ

ることも無く、会員の皆様におかれましては、予定

期対策」に取り組んでおられ、1期対策を発展さ せ、森林の持つ防災機能強化を進められており、

県では、

昨年から「新ひょうごの森づくり・2

について、悩まれていることと思います。 が被害に見舞われております。近年、各地で短時間 50㎜という豪雨が記録され、尊い人命と多くの家屋 の皆さんは避難の指示や避難勧告を出すタイミング に記録的な豪雨が度々発生しており、関係の市町長 された事業が順調に進捗されたことと思います。 しかし、昨年7月には、九州北部において日雨量

進の重要性を認識することが重要です。 難の方法を見直すなど、県・市町・住民がそれぞ 雨による災害の発生が懸念されており、住民の非 森林の適正な維持・管理と計画的な治山事業の推 しておくことが必要であると考えています。また、 れ日頃から災害に対する備えについて改めて確認 このように、最近はこれまでの予想を超える豪

> あります。 も、2期対策の着実な実行をお願いするところで 森林の保全と豊かな森を次世代に引き継ぐために

考えておりますので、会員の皆様のご協力をよろ 継いでおりますので、活動内容は変わらず、今後 を完了いたしました。協会の目的及び事業内容に しくお願いいたします。 も治山林道関係事業の発展に努力して参りたいと つきましては、これまでの公益社団の定款を引き 昨年の7月に当協会は、一般社団法人への移行

心より祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。 最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を

平成二十四年度 林業賞受賞者

兵庫県農政環境部林務課



松原 大三 氏

■主なご功績

優れた森林経営と 青少年への森林環境教育の推進_

材の生産に貢献してこれらました。 れるなど、模範的な林業経営を実践し、優良 新の技術、情報の習得にも積極的に取り組ま 道な枝打ちや除間伐を継続するとともに、最 宍粟市でも山林を経営され、長年にわたり地 松原大三氏は、地元三木市の他、姫路市や

宍粟市 与位生産森林組合

■主なご功績

効率的な森林整備と

模範的な組合運営の実践.

とで意欲向上に繋げ、地域での雇用を創出す 効率的な森林整備に尽力されました。 林内作業車や自走式搬器などを組み合わせた 県下最大規模の森林経営面積約80hを有し、 るとともに、 また、販売益の一部を組合員に配当するこ 与位生産森林組合は、生産森林組合として 林業災害の防止にも積極的に取



また、地域の方や青少年を対象に森林の普

よる搬出間伐

教育にも積極的に取り組んでこられました。 高校の非常勤講師を勤められるなど森林環境 及活動に従事するととにその知見を活かして

られました。 営を行ってこ 範的な組合運 り組むなど模

地域で保育管理を行うなど森 地元少年野球チ -ムとのアオ

ダモの植樹活動

美方郡香美町小代林業研究グループ

■主なご功績

「雪に強い森づくりの推進と 森林環境教育の実践

りに尽力されました。 枝打ち効果の検証を行うなど雪に強い森づく 香美町において、雪に強い「小代スギ」の苗 木の研究・育成に取り組むとともに、間伐や また、将来、野球のバットにするため地元 小代林業研究グループは、多雪地域である

も貢献してこ 林環境教育に られました。

神社から採取したアオダモの苗木を子供達と

ともに植栽し、

ところが評価され ど地域に貢献した 応を適切に行うな

2

第28回民有林治山工事コンクール

表彰が行われました。兵庫県では次の方々が受賞 よる平成24年度治山・林道コンクールの入賞者の ル麹町で開催された日本林道協会通常総会に先 平成24年11月12日 紐日本治山治水協会・日本林道協会主催に 東京千代田区平河町、ルポ

農林水産大臣賞に株式会社総合グリーンが輝く 第28回民有林林道工事コンクール

工管理体制が適切 創意工夫もあり施 あった。現場での 品質管理も良好で 区の工事で、現場 三国岳線10―5工 道開設事業千ヶ峰 成22年度森林基幹 仕上がりが丁寧 対象工事は、平 出来高管理、



た資材運搬路の対 台風により被災し を積極的に行い、 設林道の路面補修 であった。また既

受賞会場にて

対象工事は、

治山激甚災害対策特別緊急事業

社日本治山治水協会長賞に光都農林水産振興事務所

第13回民有林治山木材使用工事コンクール

(宍粟市七野)の山腹復旧工事における土留工の



森林基幹道「千ヶ峰・三国岳線」

地元に貢献した あった、また、 たが、丁寧に工 水路の清掃など 説明会や下流の 十分行い、現場 地元との調整も 全管理が良好で 施工管理及び安 事を行っており



予防治山事業 (南あわじ市賀集長原字中島)

生した下流にお と山腹崩壊が発

林野庁長官賞に入谷緑化土木株式会社が輝く 対象工事は、平成16年の台風23号で渓流の荒廃



受賞会場にて

した工事であっ

設に木柵工37 mを採用して

用量は約17 図った。これ であった。 による木材使 景観の維持を



治山激甚災害対策特別緊急事業 (宍粟市千種町七野)

日本林道協会長賞に朝来農林振興事務所 第13回民有林林道木材使用工事コンクー

ル

保のために、 町栗鹿)の工事で、林道切取り法面下部に視界確 対象工事は、森林管理道粟鹿山線 丸太伏工を採用した。 また残土処分 (朝来市山

森林管理道「粟鹿山線」

設工で板柵工 場の管理のた は約12㎡であ る木材使用量 379mを採用し めに丸太階段 た。これによ 工66段及び仮

ロ風被害跡地の森で

加古川農林水産振興事務所林業課

箇所で山腹崩壊が発生し被害は民有林まで及び

(図2)、兵庫森林管理署と連携のもとに復旧対策

とした清水坂国有林

(約 160

ha

で被害が多く、

4

平成23年台風12号災害の概要 【加古川農林水産振興事務所管内】

りました。山地災害においても、 確率に匹敵する雨量でした。 志方では累計雨量31m最大時間雨量69m ない甚大な被害となりました。(表1)加古川市 ど、加古川市、高砂市において当管内では近年に かったものの土石流発生により家屋が全壊するな たらした台風12号は、当事務所管内でも加古川市 消防職員が1名死亡するなど、大きな被害とな 昨年9月2日~5日に紀伊半島等に大災害をも 図 1 人命に影響はな

業が完了する予定です。

(表2)

復旧補助治山10箇所実施し、今年度中に23年度事 算で、災害関連緊急治山事業1箇所、県単独災害 を進めました。当事務所では、平成23年度補正予

時 60 間 50 雨 40 300 果 250 加 200 量 最大時間雨量 69mm 4日2時 150 mm 100 mm 30 20 10 15年年 9月3日 9月4日

台風12号による山地災害被害

被害金額(千円)

39,000

9,000

48,000

350

箇所数

3

11

平成23年台風12号雨量(志方) 累加雨量 351 mm 2日3時-4日6時

表1

市町

加古川市

高砂市

計

70

生した崩壊土砂が土石流化し、

約1万㎡の土砂が

前の古刹ですが、今回の台風災害で国有林から発

加古川市志方町永室の長楽寺は、約1300年

志方(加古川市)における雨量

3

長楽寺の被害と復旧状況

事業名	箇所数	事業費(千円)
災害関連緊急治山	1	48,179
県単独災害復旧補助治山	10	105,328
計	11	153,507



平成23年度災害復旧事業

今回の災害は、

加古川市志方町の大藤山を中

災害復旧事業の概要

図2 加古川市志方町東飯坂の被害状況

①災害を起こさない森林づくり 地元小学生による森づくり

署など関係機関と長楽寺関係者、 た。当事務所のほか、本庁治山課、 による森づくりをしてほしいとの要望がありまし を起こさない森林にしてほしい、自然植生の樹種 平成24年1月、長楽寺関係者から、二度と災害 町内会主催で、「地域で生まれた人々による 永室町内会と協 兵庫森林管理

まで達し、発生源からの距離は約60mにもなりま が流出、土砂は市道を超えてグランド及びため池 下流の市立老人福祉センター「長楽園」にも土砂 した。当事務所では、 本堂と庫裏が全壊しました(図3)。また、 兵庫森林管理署及び加古川

基を施工し、 床固工を実施中で 山事業で谷止工・ 続き24年度復旧治 山事業で谷止工1 とともに、23年度 急土砂除去、 市と協議の上、 の災害関連緊急治 急対策を実施する 水路の開削等の応 引き 流末 緊



長楽寺の被害状況

りました。 る素晴らしいプロジェクトが実施されることとな 成26年の春に被害跡地に植栽という長期間にわた 拾い、播種、育苗、そして全体工事が完了する平 くり」をテーマとして、地元の子供たちによる森 地域で産まれた樹木による、地域でうみだす森づ の志方西小学校の協力で、小学生によるドングリ づくりを実施することとしました。その後、地元

②ドングリ拾いと種まきイベント

時 平成24年11月12日

永室町内会 長楽寺周辺及び志方西小学校

主場

H

志方西小学校、兵庫森林管理署 小学生12名ほか関係者約20名 加古川農林水産振興事務所

務所から、どんぐりの話やクイズなどを行いまし 員)のあいさつ、長楽寺住職のお礼のあと、当事 大臣とかい紀三朗衆議院議員と釜谷研造県議会議 当日は、三村町内会長、来賓2名(元文部科学

> た(図4)。 いました(図5)。 く様子に子供たちは、驚きの声を上げて見入って 石流実験装置の実演を見学。土砂が家を流してい 完成した谷止工を見ながら土

平成26年春には、子供たちが育てた苗木を、子供 たちの手で大藤山に戻し、二度と災害を起こさな

いような森林にしていく予定です。

が枯れることなく育っていくことを願っています。

今後、子供たちの手で苗木の管理を続け、

れの実験のパネル展示も行われました。 みの自由研究に取り組んだ6年生中塚君の土砂崩 をつくる」の標語や、大藤山の災害を受け、夏休 ん作のドングリ拾い合い言葉「植えて育てて未来 谷止工と集合場所の間には、 同校5年生三村さ

播き方の説明の後、アベマキ・コナラ・アラカ 学校へ移動。小学校で、当事務所からドングリの 校舎の一角に置きました(図8)。 持参した牛乳パックに1個づつ種を播き(図7)、 シ・ウバメガシの4種類のドングリを各自家から 長楽寺周辺でドングリを拾いながら(図6)、 小

うなど、盛り上がりを見せて、 ルテレビの取材もあり、 神戸新聞やNHKテレビ、地元ケーブ 生徒にインタビューを行 一連の行事が無事





ドングリくんとちさんクン



ドングリの話を熱心に聴く子供たち



長楽寺周辺でドングリを拾う



校舎の一角で苗木を育てていく



谷止工と「植えて育てて未来をつくる 標語の前でドングリを見せる子供たち くる」

平成24年度 ラクボルト併用

兵庫県農政環境部治山

講演会が開催されました。 てロープネット・ロックボルト併用工法研究会の 平成24年11月21

はじめに

日

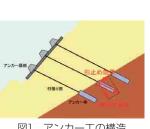
三重県教育文化会館におい

ましたので、その一部について概要を紹介します。 アンカー工の維持管理」と題した特別講演があり 授による「SAAMシステムを用いたグラウンド 講演会では、三重大学生物資源学部酒井俊典教

「SAAMシステムを用いた グラウンドアンカー工の維持管理」

①アンカーエの維持管理

策や斜面崩壊防止対策として昭和30年頃から広く を高強度の引張材で連結させ、緊張力を利用して 斜面を安定させる工法(図1)で、 安定な地盤に造成するアンカー体とアンカー頭部 グラウンドアンカー(以下、 「アンカー」)工は 地すべり防止対



背面の空隙

自由長シース

頭部ヘッド

受圧構造物

アンカー工の構造

どまり法面の安定の は局所的な評価にと 割程度の管理基準で

力や地質により一様な緊張力を示さないため、

1

面的に調査すること くの試験を実施し、 般的に使用されて リフトオフ試験に 有効である。

なった直後から、

なるため、既設アンカーを適切に維持管理してい 施工延長約2、100㎞の施工実績があるが、施 利用されている。最近では、 くことが大きな課題となっている。 工時の緊張力が損なわれると斜面全体が不安定と 年間約3、100件

②SAAMジャッキによるリフトオフ試験

リング調査を実施、あるいは同本数程度にリフト では、全本数の1割程度に荷重計を設置しモニタ 行政法人土木研究所が定めた維持管理マニュアル のみで健全性を評価することは困難である。 地中に埋設しているため、目視や打音による点検 オフ試験 しかし、 アンカー工の維持管理は、アンカーの大部分が (載荷試験)の実施を定めている。 法面に作用する緊張力は、 想定外の外 独立

評価には不十分であ できるだけ数多

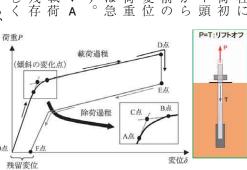
SAAMジャッキ 図2

部が支圧板から 期のアンカー頭 おいて、載荷初 す。載荷過程に

200㎏程度もあり設置や仮設に大掛りな作業が必要いるセンターホールジャッキは、重量が100㎏から 覚的に評価した。 の面的分布調査を実施し、 Mジャッキ (図2)を利用して、アンカー緊張力 アジャスターを設置し、軽量コンパクトなSAA となることが多い。そこで、アンカー体の頭部に リフトオフ試験は、アンカー頭部にジャッキを 法面の緊張力状態を視

③リフトオフ試験における残存引張力の評価

かれる一般的な荷重-設置し引張荷重を載荷して行われる。その時に描 -変位曲線の形状を図3に示



リフトオフ試験による荷重-A点:P=T→現在の緊張力 A点以降→テンドンが伸びる 図3 -変位曲線

引張力と等しく な傾きを示す。 は微小で、荷重 段階では、変位 離れ始める前の 点) さらに載荷 し、荷重が残存 (図3・O↓A 変位曲線は急

図4 残存引張力のばらつき 討をおこなった。 ましい。そこで面的評価に最適な数量について検 (4)アンカー緊張力の面的調査 また、A点やB点のような微妙な変化点をとらえ 張力を求め、 始めるA点や変位が卓越し始めるB点の荷重、ま を示す(図3・B→D点) 曲線はアンカー材の弾性係数に依存する緩い傾き なるとアンカーの自由長部分に引張荷重が伝達し 化 引張力として評価される。 の荷重を「リフトオフ値」と呼び、 る必要もないため、C点を残存引張力とした。 などでは傾斜の変化点が明瞭に現れないことがあ 合がある。 たは変化点前後の直線を延長したC点とされる場 点)。この現象を一般に アンカー頭部が支圧板 (図4)、C点おける計測値がばらつきが少なく、 さらに載荷を続けると、曲線の傾きが徐々に変 SEEEアンカーが協本施工された法面で、 が高いが、作業の効率性の点では抽出調査が望 面的調査では、アンカーの全数調査が最も信頼 リフトオフ値の評価には、 し始める(図3・A→B点)。 そこで、 A点 しかし、 A 点、 計測値のばらつきを評価したところ 定着くさびタイプのアンカー B点、C点それぞれの残存引 から離れ始める(図3・A 「リフトオフ」、この時点 B点 曲線の傾斜が変化し その変化が一定に アンカーの残存

C 点 全 110% 象に追

 P_c $R_{td} =$ T_d

 P_c : 残存引張り力 (kN) T_d : 設計アンカー力 (kN) R_{td}: 引張り力残在率 (%)

数について、設計アンカー力に対する残存引張力 区域の存在がわかる。 右側に、設計アンカー力より過緊張となっている の百分率である残存率(Rd)を求め、コンターグ 数リフトオフ試験を実施した。図5はアンカー全 ラフ化したものである。法面の左下部や中央やや

程度、 全数に対し、1/2程度、 1/20程度として評価したものを図6に示 1 4程 度、 1

れる。 られ、1/22程度では分布域の特定は困難と思わ できた。1/4程度においても過緊張の領域をあ るものの、 10程度では過緊張の領域の特定までは困難ではあ る程度特定できていると考えられる。また、1/ た場合とほぼ等しく過緊張の領域を捉えることが 1 / 2程度とした場合の面的分布は全数調査し 分布傾向を認識することは可能と考え

た場合に、 張力の分布傾向を 域のアンカーを対 の傾向が確認され ターとし、過緊張 捉える1次フィル その領 図5

加調査する

以上から、1

4

1

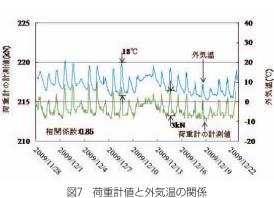
,10程度の調査を残存引

 $R_{\rm td}(\%)$

維持管理を検 となっており 演であった。 討していくう いて、今後の ンカー工につ されているア の現場で施工 としても多く 森林土木施設 えで貴重な講

10 相関関係 損

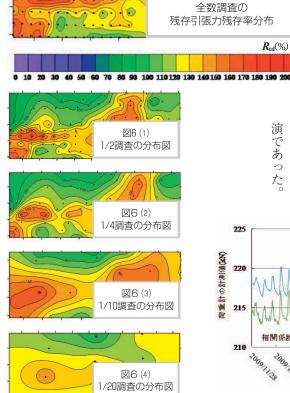
化が社会問題



考えられた。 ことで効率的な荷重管理を行なうことができると

4. まとめ

った興味深い内容が多かった。現在、 のアンカー施工法面の斜面変状やアンカーの破 今回の講演では、 ·破断状況、 (図 6) また、外気温と荷重計の計測値の など紙面の関係で紹介できなか 紹介した内容のほ かに、 施設の老朽 多く



24年森林ツーリズムツアーの実

を受け、「森林ツーリズム資源開発事業」として、 実施してきました。 森林基幹道沿線の自然環境資源 :跡、神社・仏閣、文化・体験施設等) 当協会では、平成21年から3ヶ年間、 滝、貴重動植物等)や生活文化資源(名所・ (名山、巨樹・巨 県の委託 の調査を

を深めるための取り組みを進めてきました。 原案を作成し、林道の役割や森林・林業への理解 ツーリズムマップや森林ツーリズムガイドブック 設置などの環境整備を進めて頂くとともに、 や謂れの有る所を「森の駅」として設定し、 この調査結果を踏まえ、 林道上の眺望の良い所

用を目指し、「学ぶ・体験」 「遊ぶ・運動」 「観る・ 案するとともに、パイロットツアーも試行してき の資源を線に結ぶ目的別のツーリズムルートを提 観察」「食べる・採集」などの視点から、 また、森林ツーリズムとしての林道の新たな利 点と点

ら「森林ツーリズム担い手育成事業」を受託し、 ーリズム情報等の発信」を行っています。 森林ツーリズムツアーの企画実践」や「森林ツーの本体では、 これらの成果を踏まえて、平成24年には、県か

ました。当協会のツアーは従来から県が発行され については、広報が如何に大切かを痛感させられ 企画・実践してきました。特に、公募するツアー 5月以降ほぼ月1回のペースで、9回のツアーを 本年は次のツアー実施状況一覧表に示すとおり

と蘇武岳・サナの滝を巡る旅」は「ふるさと再発

一覧表のうち、

7

/ 7 の

「カキツバタ群落

応募者の少なかったものは、 掲載されないものもあり、 したが、本年は多くのツアーを企画したことから る「県民だよりひょうご」に掲載して頂いてきま 次表の募集人員に対し - 県民だよりひょう

平成24年森林ツーリズムツアー実施状況							_
	関係林道路線名	日 程	募集人員 (名)	応募者 (名)	参加者 (名)	共催等連携機関名	や新
	千町・段ケ峰線	5月19日(土)	24	18	12	朝来わんぱく教室	聞
	瀞川・氷ノ山線	5月24日(木) ~5月25日(金)	40	144	37	養父市	に掲
	妙見·蘇武線 三川線	7月7日(土)	20	21	17	香美町・ 但馬ふるさとづくり協会	庫さい
	妙見・蘇武線	8月28日(火) ~8月29日(水)	40	38	27	豊岡市日高町羽尻集落	れなり
	瀞川・氷ノ山線 (関連)	9月25日(火)	30	77	25	養父市・JAたじま	カニ
	千町・段ケ峰線	10月21日(日)	40	46	39	宍粟市・福知自治会	たッ
	静川・氷ノ山線	10月26日(金)	40	226	40	養父市	アー
	笠形線・峰山線	11月3日(土) ~11月4日(日)	30	125	27	神河町	てす
	静川・氷ノ山線	11月17日(土) ~11月18日(日)	40	56	27	尼崎市立美方高原 自然の家「とちのき村」	'

ツアー名	関係林道路線名	日 程	募集人員 (名)	応募者 (名)	参加者 (名)	共催等連携機関名
岩塊流観察と段ケ峰山系 尾根歩き	千町・段ケ峰線	5月19日(土)	24	18	12	朝来わんぱく教室
新緑の氷ノ山林道 自然観察ウォーク	瀞川・氷ノ山線	5月24日(木) ~5月25日(金)	40	144	37	養父市
カキツバタ群落と蘇武岳・ サナの滝を巡る旅	妙見・蘇武線 三川線	7月7日(土)	20	21	17	香美町・ 但馬ふるさとづくり協会
阿瀬渓谷と蘇武岳を歩く 旅	妙見・蘇武線	8月28日(火) ~8月29日(水)	40	38	27	豊岡市日高町羽尻集落
杉ケ沢高原と 天滝渓谷ウォーク	瀞川・氷ノ山線 (関連)	9月25日(火)	30	77	25	養父市・JAたじま
千町岩塊流〜福知渓谷を めぐるHIKE&RIDE	千町・段ケ峰線	10月21日(日)	40	46	39	宍粟市・福知自治会
紅葉の氷ノ山林道 自然観察ウォーク	静川・氷ノ山線	10月26日(金)	40	226	40	養父市
笠形山横断登山と峰山・ 砥峰高原ハイキング	笠形線・峰山線	11月3日(土) ~11月4日(日)	30	125	27	神河町
ハチ高原から美方高原へ、 巨木と滝巡り	静川・氷ノ山線	11月17日(土) ~11月18日(日)	40	56	27	尼崎市立美方高原 自然の家「とちのき村」

(注)上記ツアーは、県委託事業及び県管理森林基幹道を利用しての実施のため、兵庫県との連携で実施している。

町村岡地域局を集合場所として企画・実施しまし 見ツアー」と銘打ち地元の方を対象に考え、

数の場合には抽選しました。このうち、5月実施 で紹介しましたので、本誌では7月以降のツアー の2ツアーの実施状況については、やまなみ32号 姫路からのツアーとして参加者をつのり、 先着順で募集したものです。他のツアーは神戸・ 宍粟市一宮町「まほろばの湯」を集合場所として るHIKE&RIDE」はマウンテンバイクツアーとし、 10/21の「千町岩塊流~福知渓谷をめぐ 反省と課題を中心に紹介していきま 応募多

蘇武岳・サナの滝を巡る旅ひょうごの至宝カキツバタ群落と ふるさと再発見!



されていた点には驚かされました。 ず、皆様方から提出頂いたアンケートには批判的 のような悪天候の下で実施したツアーにも関わら 行程の変更を余儀なくされました。ただ今回、こ できないことから、登山は希望者のみで行うなど、 スがかかり、たとえ登ったとしても眺望すら期待 策を講じて対応する事としましたが、山全体にガ すくなっていたため、ロープを張るなどの安全対 からの大雨により登山道はぬかるみ、 蘇武岳登山を念頭においたこのツアーは、 むしろ好感的ともとれる内容で評価 おそらく事故 更に滑りや

変更するなら、その代替えコースは?などを含め どのような対応を取れば良いのか?もしコースを あったと思います。 となく出来たことが、ツアー遂行の大きな要因で などが、新鮮味を持って受け入れられたのではな い雨の中での山歩き、濡れた木々の瑞々しい様子 が無かったことや、普段、あまり体験する事の無 で登山や眺望出来なかった皆様方を飽きさせるこ で行われた近藤講師の絶妙な説明とトークも、雨 いかと感じています。また、移動中の車内や現地 今後はこのような天候悪化等に遭遇した場合、

た綿密な行動計画を立てておく必要性を感じまし





銚子ヶ谷湿原のカキツバタ群落

蘇武岳周辺に自生するブナ林

但馬の夏休み 阿瀬渓谷と蘇武岳を歩く旅

参加者の感動を誘いました。 まない努力など、ありのままの言葉で伝えて頂き 地区での生活や苦労、そして生きることへのたゆ ガイドさんに同行をお願いし、 今回、 初めて専門の知識と経験を持った地元の 廃村となった金山

さらに、反省点とし 素だということです。 めの一つの重要な要 を企画・立案するた あるツアー、いつま とながら、新鮮味の 全面の充実もさるこ 豊富な地元に根付い て、ツアー2日目の でも心に残るツアー し、招くことは、安 たガイドさんを発掘 また、そのことから気付いたのは、



阿瀬渓谷 源太夫滝にて

感動的だった」「ま き点だと感じていま 住民による体験談は トでは、「廃村の元 す。一方、アンケー お聞きし、再考すべ であったとの意見を など登山には不適切



が、山頂まで持参す

るには大きさ、内容

供した昼食(弁当) 蘇武岳登山の際に提

蘇武岳山頂にて

を頂きました。その他 として全面的なご協力 農家(轟大根生産部 杉ヶ沢高原内に設置さ 会)とを結ぶパイプ役



日本の滝百選 天滝



杉ヶ沢高原にて

だったことから、 い、参加者からも支持されるツアーとして仕上げ た参加したい・行ってみたい」との意見が圧倒的 ることが出来た内容だったと感じています。 今回のこの企画は、満足度の高

杉ヶ沢高原と天滝渓谷ウォーク

谷」ツアーを実行する上で不可欠だったのは、 力・協賛を依頼したのが所管の養父市とJAたじ でした。そこで、最初にこの企画を持ち込み、協 穫体験を行う為に必要な関係機関への協力の依頼 今回のこの「轟き、驚き、杉ヶ沢高原と天滝渓 収

知識や経験



快く利用させて頂きました。 かす会」も、本企画へのご理解を賜り、 滝渓谷内の休憩所等を管理されている「天滝を活 れているトイレや休憩所、 おでんの試食を行う天 各施設を

来たツアーで、

今回はその両者の特性を上手く融合することの出

果たしたことで、

成功したものと分析しています。

掘り取った大根は、それぞれお土産として持ち帰 る機会も殆んどありません。 れる機会はもとより、 む機会の少ない都市部の皆さんは同様に、土に触 って頂くことが出来ました。山に入り自然に親し 当日は、このような機関・団体からのご協力を 特産の轟大根を参加者自らの手で収穫し、 生産・収穫される様子を見

ツーリズムと言えば林道 を向けると、従来の森林 のではないかと思います。 せた本ツアーは、新鮮さをもって受け入れられた だからこそ、今回の滝・渓谷歩きに収穫体験を併 も読み取れますが、そのような環境下に住む人々 ツアー終了時に記入頂いたアンケート結果から またツアー全体に視点

て、

場合は、地元行政機関や タイアップ出来たことで、 密着したこれらの団体と JAたじまなど、地域に



うに感じます。

つまり

興型森林ツーリズムツア 加えた、言わば「地域振 産品の収穫体験・試食を 売りである観光資源や特 森林ツーリズムに地元の

へと変貌を遂げたよ

轟大根で作ったおでん



楽しむ自然散策に主眼を

一いて企画したものが多

など登山や景観、

植物を

及びその周辺の山や樹木

かったのですが、今回の

轟大根収穫体験

資 材

までの 催地周辺の詳 業務で収集した開 ツアーで培った経 会側はツーリズム を上手く ターと、 のツーリズムターと、これの詳細な 互. 感を。 0) 融 担長合それ

具体的な役割とし と感じています。 など人的・物理的 プする車両や設備 全体をバックアッ ウを持った人材と 催に必要なノウハ 遺憾なく発揮することで成功に導くことが出 転車やそれらを 宍粟市側は の提供を。 イベント 協 開 一来た

運搬し、

自

林道を疾走する参加者

千町峠で記念撮影

にする機会がほとんど無 な美しい紅葉や景色を目 者にとっては、このよう 都市部にお住まいの参加 て欲しい」という参加者 までのように泊まりにし - 秋の林道ウォークは今 意見が聞かれました。



より「もっと もっと観

額縁ブナにて



り、日帰りとして企画し 道ウォークは例年と異な た。ただ、今回、秋の林

たため、時間的な余裕が

少なく、

折角の紅葉を前

「もう少し歩きたい」

紅葉に染まる氷ノ山山麓

MTBツアー TIKE & RIDE 千町岩塊流~福知渓谷をめぐる 回のイベントは、市政を担う地元行政機関等と林 宍粟市・福知自治会と協会の共催で開催した今 新たな可能性をも感じさせられま HIKE & RIDE 🚄





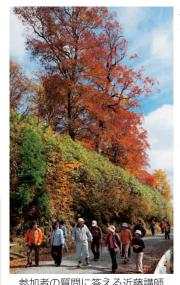
ウォーキング 紅葉の氷ノ山、林道自然 林道 静川・氷ノ山ツア 林道自然観察

とが手を組み、それぞれの持つ特性やノウハウを 道を中心とした森林ツーリズムを展開する当協会

当日のウォーキングは紅葉が一番美しく見える場 を決定。詳細な情報も収集していた事もあって、 調査で当日の紅葉を予測し、 事が出来ました。ウォーキングポイントは事前の 所を歩くことが出来まし 天候にも恵まれ、 全ての行程を順調に消化する 見頃と思われる場所

うどんの提供にご満悦

拍車がかかったものと思われます。 にも恵まれたことが、参加者のこのような要望に 年にも増して美しく色づいたこと、早朝より天候 それに今年の紅葉は気候的な条件も加味され、例 」との思いに駆られたのではないでしょうか。



参加者の質問に答える近藤講師

原ハイキング 笠形山横断登山と峰山・砥峰高 笠形線と峰山線ツアー

加えて、参加者を数班に分け、それぞれにリーダ 最終的な登山参加への意思確認を実行しました。 認と再度の説明及び注意事項などを口頭で行い、 提出した警察署の指導に基づき、 面が続くため、「登山道の状態・距離」など詳細 で以上に安全面に配慮したツアーであったといえ 験の浅い方も含まれる本ツアーの実施は、これま コースの状態や距離などを考えると高齢の方・経 出来るよう、万全の態勢で臨みました。とはいえ 士の連絡を密にするなど、十分な注意と目配りが しました。さらに、当日出発前には登山計画書を な情報や注意事項を事前に書面にて参加者に通知 となるスタッフを配置、 は林内のガレ場の多い荒れた登山道と急な斜 回 ツアー初日に計画した「笠形山横断登 無線機を使って各班同 参加者の健康確

> 準備の甲斐もあって、一人として事故者も、 なしとげる事が出来まし 幸いにも天候に恵まれたことや、それらの事前 (リタイヤ) も出すことなく笠形山横断登山を 脱落

というイベントに参加し 原・砥峰高原ハイキング で頂くなど、内容の濃い と森づくりについて学ん て、ふるさと兵庫の林業 ひょうご森のまつり んで頂くだけではなく では単に高原歩きを楽し また、2日目の峰山高





笠形山山頂にて

笠形山山頂からの眺望

実した内容のツアーであ

ったことがうかがえます

れることからみても、充 アンケートに答えておら

晩秋の高原歩き

ハチ高原から

美方高原へ巨木と滝巡り

を考慮し、 います。 ではないかと反省して 再考すべきであったの 等の計画は標高・気候 はいえ、登山・山歩き 地帯です。11月半ばと 町)は県下有数の豪雪 冬の但馬地域 実施時期を (香美



けたのではないかと思っています。

ただ、今回 楽しんで頂

にとっては十分とは言えないまでも、

跡や養父神社などの人気スポットを上手く代替え

を余儀なくされてしまいました。しかし、

からの積雪に見舞われ、

残念ながらコースの変更

竹田城

コースとして組み入れたことで、参加者の皆さん

散策を楽しんでいただこうと計画しましたが、折

晩秋の高原歩きと銘打ち、山歩き・高原

今回、

新屋八反滝



新屋の大トチノキにて



時期にも問題があったものと考えています。 行程を変更せざるをえなくなった背景には、 当初は40名の定員に対して56名の方からのご応

員を大きく下回る27名 の参加で実施すること 募を頂きましたが、日を追うごとにキャンセルが その結果、定

養父神社の紅葉

視察研修

実施いたしました。 興対策協議会・一般社団法人兵庫県治山林道協会 主催による先進地視察を平成24年10月16・17日に 今年は、兵庫県公有林野協議会・兵庫県地域振

合で次世代タワーヤーダーの集材システムの研修 とけん引式タワーヤーダーを導入した香美森林組 いうことで、高知県の㈱とされいほくの集材現場 る大規模集材方法であるH型集材を勉強しようと 今年度は昨年三重県で勉強しました、架線によ

組合管内の林野率は79%で人工林は76%と高率で まず訪れたのは、 人工林の林令は7から11令級に集中してい 香美市の香美森林組合で、当

香美市の傾斜区分は35度前後が70%以上であ 材の搬出は路網の整備と架線系による搬出が

> 式のタワーヤーダーで、自動化の点では中間支柱 業機械の導入・改良事業を利用して導入すること め集材距離が長くなりスイングヤーダーによる集 ヤーダーによる搬出間伐を行っていたが、傾斜及 中心であり、平成8年度から施業の集約化を行 になったとのことでした。導入された機種は牽引 の面で勝っており、平成21年の2次補正で先進林 ダーファルケのほうが、自動化、省力化、 トリア)のタワーヤーダーを比較したところワン ダーによる集材を検討することになりました。 材の不適地が増加したため、このたびタワーヤー なり、作業道間隔が広くなっていました。そのた び地形の関係で作業道の開設が困難な地域が多く 団地30h程度の団地を設定し路網とスイング 国産機とワンダーファルケ(MM社製 オース 安全性



牽引トラクター

性の確保に優

いるため安全 器具を使って できる特殊な

ワンダーファルケ

目の前で確認 掛けているワ はずすことが イヤーを手元 しながら材に ペレーターが

まってからオ 置、また常に 業索の断線時 負荷警報、作 ラムできるた 停止をプロ 手前での自動 の自動停止装 安全性では過 可能にした、 め、搬器が止 荷揚げ地点の



組合内会議室



搬器

のオペレーターで操作を行うことができ人員減を いる、省力化では自動停止装置を利用し造材機械

れている。

行った収入間伐は2%hで山元に対して約26万円、 10、000 hとして木材生産量を31、000 m haの利益還元を行っているとのことでした。 このような省力化を進めた結果、この4年間に 当組合の今後の目標は森林の集約化を

としていました。 次の日は㈱とされいほくの大型架線集材の現場

行っていました。 の境界管理を行たり、間伐収益の山元への還元を 満足度を向上させるため、所有者に代わって森林 の持てる組織作りを行っていました。また、顧客 のある人材育成に力を入れており、従業員が誇り 当社は従業員18名、平均年齢は31歳で、やる気

50%に設定しているということでありました。 ほとんどが間伐の遅れている山が多く間伐率は した。あいにくの雨で索張りがはっきり見えない 12、000㎡でありました。間伐を行う林分は、 テムを導入し、年間間伐面積は約10hで生産量は この日は、大豊町立川三谷山の事業地に行きま 収益間伐を実行するために団地化と高生産シス

集材作業

見えるため、これをH型架線集材と呼んでいまし よってドッキングさせ上空から見ると「H」型に 架線の荷揚げ索を1個のロージングブロックに 間隔が10mの状態で作業中でした。これら双方の 050m) と4号線 延長が4、700mで、現在は3号線(索長が1、 状態でした。この団地は面積が19haで路網の開設 (索長が1、150m)で索張

ました。この杉は大豊町杉にある八坂神社の境内

いうことで、大雨の中でしたが立ち寄ることにし

に立つ二株の大杉です。

模とし、これらが機能的に能力を十分発揮するた 索を張り渡す形で4本の索張り程度を一般的な規 めには線下高が50から10m程度が必要である。 この集材方法は谷川をまたいで尾根から尾根に

ヤーダーによる集材システムも採用していまし 系の作業システムが必要になり、路網とスイング きない急傾斜箇所となります。また、大規模な団 地になれば、暖傾斜地も存在し、その場合は車両 このことから架設適地は高密度の路網が設置で

した。

利用した現状の労働牛 元への還元を6万円 10㎡/人日にあげて山 30万円/haであるとい あり山元への還元は約 産性は約7㎡/人日で haに上げるということ 目標は、労働生産性を うことでした。今後の これらのシステムを

「杉の大杉」があると 次に、帰りの道中に

> 北の杉が根 年といわれ、南の大きい杉が根回り20m樹高60m 国の特別天然記念物に指定されており樹齢3千

路に着きま 賞の後、帰 回り16m樹 い巨木を鑑 のありがた た。これら 高56mでし



杉の大杉



現場での研修



社内会議室

社団法人兵庫みどり公社 森林緑化部専門員

③設計研修

平面測量・曲線設定、オートレベルによる縦

ベンチマークの設定、ポールによ

る横断面測量などの実践研修を行いました。

光波測距儀(トータルステーション)を用いた

断面測量、

はじめに

で50周年を迎えました。 全や農業・農山村地域の振興を進めており、本年 め、緑税事業などの県の実行機関として県土の保 社団法人兵庫みどり公社は、昭和37年に設立さ 分収造林の推進による森林資源の造成をはじ

お礼申し上げます。 様には多岐にわたりご支援とご協力いただき厚く この間、県をはじめ、 市町、 林業関係団体の皆

題であり、 開設工事への取り組みが急務となっている。 ラック)や大型ホイールタイプフォワーダの通行 業道と組み合せて、普通自動車 搬出する見込みがたちました。今後、この取組を 備を進め、 伐や主伐期を迎えておりますが、木材価格が低迷 が可能である林業専用道(自動車道2級相当)の 一層進めるためには、幹線林道を補完し、森林作 する中、伐採搬出の生産コストの低減は喫緊の課 | 林面積の約1割(19、405 h)を占めてお 公社の主要事業である分収造林は、民有林の人 設立当初に植林された林分は成熟し、収入間 24年度においては、10、 そのために森林作業道を中心に路網整 (10 t積程度のト 000me

> ため、技術の向上と研鑚を図るため研修を行いま したので紹介します。 儀(トータルステーション)等の扱いも不慣れな

3 研修内容

① 座

測量用語などの研修を行いました。 運用細則や林道の計画・調査・測量・設計や 補助体系、林業専用道作設指針、林道規程の 森林法による造林・間伐・林道開設などの



工基面高の決定の考え方など、また、最新の .馴染んだ交角点(I'P)の選定、法線・施 座学の研修内容を現地研修で実演し、地形



測量・設計、施工、工事監督業務に従事した経験

しかしながら、公社職員は、林道の計画調査

が少なく、また、最新の測量機器である光波測距



(I.P点) 設定研修



平面測量研修 (光波測距儀)



最新測量ソフトによる詳細設計研修

行いました。 計算業務、 横断面図等の作成、施工基面高の決定、数量 のパソコンへの入力作業、平面図・縦断図

測量手簿の作成などの実践研修を

最新測量ソフトを活用し、測量成果データ

4. あとがき

げます。 庫県治山林道協会に対しまして、 職員の派遣など、多大なご協力いただきました兵 量・設計業務の短縮が図れます。今後も設計積算 最後になりましたが今回の研修会開催にあたり、 計審査に取り組める体制づくりを進めていきます。 計業務から最新測量ソフトを活用することで測 に係る研修会を継続実施し、自らが設計積算や設 今回の研修会では、従来からの調査・測量・設 厚くお礼申し上

知事あいさつ

記念植樹

「ひょうご森のまつり2012」を開

兵庫県農政環境部豊かな森づくり課

原と森が育むみんなの生命(いのち)」をテーマ による「ひょうご森のまつり2012」が、「高 11月4日(日)に開催されました。 に、峰山高原及びリラクシアの森周辺(神河町)で 兵庫県、神河町、社兵庫県緑化推進協会の主催

森の大切さを体験しながら「県民総参加による森 づくり」を実践しました。 会場内の多様なプログラムを通して、森に親しみ 県下各地から集まった約5、500人の県民が

鳥された20羽のキジは峰山高原の空高く飛んでい ティア団体連絡協議会の活動報告、緑の少年団に る主催者あいさつや各種表彰行事、県森林ボラン よる宣誓などが行われ、県猟友会の協力により放 では、井戸兵庫県知事、 当日、雲ひとつないお天気に恵まれた式典会場 地元の山名神河町長によ

きました。

と県職退職者で構成する林友会の介添えで、トチ ノキとホオノキの記念植樹が行われました。 引き続き、

り会場はおおいに盛り上がりました。 クションが実施され、地元神河町からの出演もあ 吹奏楽部の演奏、根字野(みよの)獅子舞保存会 ニメ紙芝居、チェンソーアート作品の表彰・オー による演舞、メダカのコタロー劇団による環境ア また、式典後の会場ステージでは、神河中学校

づくり活動展、ペレットストーブの展示、間伐材 産物販売のほか、災害に強い森づくりや企業の森 さらに、ステージそばのブースは、神河町の特

知事と神河町長により、緑の少年団

わいました。

械のデモンストレーションなど多彩な出展でにぎ

を用いたクラフトづくり、さらには高性能林業機

学ぶ体験型イベントに多くの方が参加していまし 然のなかで実際に身体を動かし森の再生や循環を 丸太切り、チェンソーアート、里山整備など、自 このほか、ススキを使った茅葺きの屋根ふきや

月4日(月・振替休日)、神戸市立森林植物園で 予定しています。 来年の「ひょうご森のまつり2013」は、 11

お越し下さい。 ぜひ、ご家族、 お友達などお誘い合わせのうえ





丸太切り体験



里山整備体験

第27回「ひょうご木材フェ

兵庫県木材利用推進協議会

森林に元気を』」をテーマに、 さしい循環資源~『木材を使って、人に健康を、 神戸市中央区の神戸ハーバーランド高浜岸壁周辺 体で構成―会長・松野正和)は、10月14日(日) 会場に訪れました。 と共催ということもあり、 回フェアは、昨年同様、 うご木材フェア」を開催しました。本年度の第27 (モザイク前)において、「~木材は人と地球にや 兵庫県木材利用推進協議会 第17回ラジオ関西まつり 延べ55、000人が 毎年恒例の「ひょ (県内の林業関係団

立てる「木造住宅模型の組立体験」などのお子さ 梁・桁等の木材を担ぎ、木造住宅の骨組みを組み める「木工教室」や大型木製ブロックを使用した 積み木ひみつ基地」、子供達が実際の太さの柱・ 今回は18団体が21ブースを出展し、親子で楽し

> 族連れ等で過ごす多くの参加者で賑わいました。 ゃ」の展示・販売があるなど、日曜日の一日を家 など暮らしの中で使える木製品」や「木のおもち ま向けコーナーが大人気だったほか、「木工家具

さ」についてPR活動を行いました。 融資制度」等のパネル展示などにより「木の良 造住宅の良さ」「兵庫県産木材利用木造住宅特別 デルハウス」「継手・仕口部分カットモデル」「木 造住宅の建築部材」の展示、「木の特性紹介」「木 そのほか、「1/10環境配慮型在来木造住宅モ

と防災意識の向上を図りました。 流実験装置の実演により、土石流に対する危険性 害が多く発生しているため、降雨体験装置や土石 また、近年、局地的な集中豪雨等による土砂災



うご木材フェアの様子

第27回ひょうご木行之

って遊ぶ子供達 「積み木ひみつ基地」に登





土石流実験装置の実演



木製品の販売

【「第27回ひょうご木材フェア」の出展者―18団体】

21、正垣木材㈱、 宍粟材推進会議、NPO法人ひょうご新民家 県治山林道協会、兵庫県森林組合連合会・農 兵庫県木材業協同組合連合会(林ベニヤ産業 課・豊かな森づくり課)、 兵庫県立丹波年輪の里、 ひょうご木のすまい協議会(㈱大塚工務店)、 兵庫県木材青年クラブ、神戸木材協同組合、 林中央金庫、MOKUSEIKAI、㈱大野製材所、 ㈱)、NPO法人つみっ庫くらぶ、(一社)兵庫 木原木材店、街くがい林業、 ㈱木栄、兵庫県(林務 兵庫県木材利用推進

【兵庫県木材利用推進協議会の構成団体―13団体】

兵庫県木材青年クラブ、ひょうご木のすまい 兵庫県林業協会、 県治山林道協会、兵庫県公有林野協議会、兵 推進協議会 協議会、県産木材供給促進協議会、木づかい 庫県水源林造林協議会、紐兵庫みどり公社、 会、兵庫県木材業協同組合連合会、(一社)兵庫 一社)兵庫県林業会議、兵庫県森林組合連合 兵庫県林業改良普及協会、

ナラ枯れ予防対策の徹底につ甲山地区における

兵庫県農政環境部森林保全室

1.被害状況

域が拡大し南下しています。を中心に被害が発生していましたが、近年被害地を中心に被害が発生していましたが、近年被害地う。)によるナラ枯れ被害は、これまで但馬地域カシノナガキクイムシ(以下「カシナガ」とい

れがあります。 24年には多可町及び西宮市で被害が初めて確認さ24年には多可町及び西宮市で被害が初めて確認さ2年に篠山市、川西市、神戸市灘区、平成

2. 防除対策

策を実施しています。もに、保安林等の公益的機能の高い森林で防除対もに、保安林等の公益的機能の高い森林で防除対ため、被害先端地での重点的な駆除に努めるととカシナガの個体数密度を下げて被害拡大を防ぐ

3. 「かしながホイホイ」の開発

適地で実施しています。 ・実施していますが、急傾斜での伐倒・集積や粘 を実施していますが、急傾斜での伐倒・集積や粘 製薬㈱とで、軽量かつ設置の簡単なカシナガ捕獲 が求められていました。そこで、兵庫県とアース が求められていました。そこで、兵庫県とアース が求められていますが、急傾斜での伐倒・集積や粘 とで、軽量かつ設置の簡単なカシナガ捕獲 関連による防除対策

5

おわりに

「六甲山地区における

くお願いいたします。

ますので、

があります。特に六甲山地区における予防対策を

被害発生を抑制させるべく努めてまいり

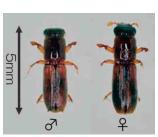
関係各位のご理解とご協力を、よろし

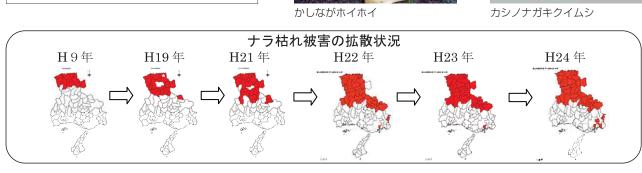
ナラ枯れは、今後県南部で大きく発生する懸念

りの観点から特に重要です。
りの観点から特に重要です。
けった、文化、景観保全、災害に強い森林づく業技術センターの技術協力を得て、「六甲山地区業技術センターの技術協力を得て、「六甲山地区業技術センターの技術協力を得て、「六甲山地区業技術センターの技術協力を得て、「六甲山地区業技術センターの技術協力を得て、「六甲山地区に近づいていることから、被害発生を極力抑制するたづいていることから、被害発生を極力抑制するたづいていることから、被害発生を極力抑制するたづいていることが、

実施内容としては、ナラ古れ古で木、穿入主写交換を行い、連携して対応します。ので、国・県・各市関係機関において相互に情報ので、国・県・各市関係機関において相互に情報のす入を受けた被害木の全ての駆除を徹底するも確に枯死木と穿入生存木の位置を把握、カシナガー実施方針としては、被害木の早期発見に努め正

て搬出処分等の実施をお願いすることとしました。た。さらに、森林地域で行われる建設工事や森した。さらに、森林地域で行われる建設工事や森した。さらに、森林地域で行われる建設工事や森となり、著しい個体数増加につながることから、となり、著しい個体数増加につながることから、となり、著しい個体数増加につながることとしました。







予備費の緊急経済対策の

楽しんでいただけるのではないかと思って 挿入された写真や挿絵を見て読み物として

おります。ご購入を希望される方は、当協

登山のコースを提案しております。

また、

頻発しました、これらの山地災害の復旧整 議で、今年度の予備費を財源とした緊急経 備を早急に進めるため、 今年度は集中 豪雨などに伴う山地災害が 国は10月26日の閣

円で林野関係 4、000倍 ました。総類 済対策を決め

49 林野関係は にはこの第2 は る り は り の り り り り り り り り り り り り り り り り	: 211 で林野関	4、000億 ました。総額 済対策を決め
		単位:百万円
追加対策の項目	第1弾	第2弾
1. 山地災害緊急対策事業	20,000	3,000
治山事業	14,000	2,000
森林整備事業	6,000	1,000
2. 山地施設災害関連事業	1,084	
災害関連緊急治山事業		1,942
合 計	21,084	4,942

円(税込み)で販売いたしております。さあ 会神戸事務所又は西播磨事務所において800 for rest 皆さんこの本を手

に兵庫の豊かな森

30年~40年以上を経過しており更新時期を迎

朽化が進んでいます。これらインフラが築後 された橋梁や下水道、学校など社会資本の老 はトンネルのほかに高度経済成長時代に建設

老朽化が一因と指摘されていますが、

中央自動車道のトンネル天井板崩落事故は

以前から言われており、2007年8月に13

た高速道路の橋梁崩落事故の発生後、 人が犠牲になった米国のミネアポリスで起き

老朽化

したインフラの維持管理や更新について検討

えているということです。このような指摘は

はいかがですか。 自然を実感されて 林を訪ね、豊かな

兵庫のきのこ図鑑」の

なお、 題して、正井俊郎氏に、キノコの紹介をし まなみ」にも平成14年4月から平成19年6 様の業務の参考になればと思っております。 冊の本として残そうということから著者 ていただいた経緯があります。このたび1 月まで10回にわたって「兵庫のきのこ」と のを取りまとめたものです。また、当「や の林業」に平成17年4月から平成24年1月 紹介したものです。林業会議発行の「兵庫 の皆様に取りまとめていただきました。皆 (藤堂千景、 この図鑑は兵庫県内に発生するキノコを この書籍の内容については、当協会 7年間28回にわたって掲載されたも 正井俊郎、山田裕司の各氏)

想されています。

国はこの問題に対して、定期的に点検し

も、これらの維持管理・更新費が足りなくな 半には、すべての公共事業予算をつぎ込んで 現状です。このままで行けば2020年代後 18%削減し、その後も下がり続けているのが 中、2010年度予算で政府は公共事業費を されていないところがあります。この様な

、新規のインフラ整備が出来なくなると予

森林基幹道を利用した様々なハイキングや 化資源及び観光資源を紹介するとともに、 して県治山課のご協力を得まして、 の調査結果を発信しようと、報告書を基に 告書を提出しました。県民の皆様にこれら 源開発事業」が24年3月で終了し、

県に報

実施しておりました、「森林ツーリズム資

平成21年度から県治山課より委託を受け

「for rest」の発刊について

ツーリズムガイドブック「for rest」

を発 森林

ただいま好評発売中です。

林道の紹介 2、歩く・登る 3、観る

森林基幹道周辺の自然環境や生活文

4、周辺ツーリズムという章立てを

すのでご覧くださ も掲載しておりま のホームページに

心配です。

が増加し、

言われています。今後通行止めの橋梁や道路

経済活動に支障をきたすのではと

よる施設の絞込みが行われるのではないかと

を維持することが出来ない場合は、統廃合に

人口が減少する中ですべてのインフラ

施設をなるべく長く使用するとしています。 損傷が深刻になる前に補修することにより









第33号 平成25年1月発行 やまなみ

-般社団法人兵庫県治山林道協会

がされてきたところでした。

は公共事業の隠れた負債といわれ、

十分把握

更新費用は今後急増すると考えられ、これら

これらの老朽化したインフラの維持管理

神戸市中央区北長狭通5丁目5-18 TEL(078)371-0210 FAX(078)371-6632 HP http://www.chisanrindou.jp 印刷所 創文社

編集責任者 太田高正